

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和4年2月24日)

- 1 令和3年度とっとり若者広聴レンジャー事業の実施結果について
【県民参画協働課】・・・ 2ページ
- 2 地域づくり活動の活性化に向けた各種イベントの開催結果について
【県民参画協働課】・・・ 3ページ
- 3 「第2期関西観光・文化振興計画」の最終案について
【文化政策課】・・・ 6ページ
- 4 鳥取県スポーツ顕彰の授与について
【スポーツ課】・・・ 8ページ
- 5 第77回国民体育大会冬季大会（スケート競技、スキー競技）における鳥取県選手団の結果について
【スポーツ課】・・・ 9ページ
- 6 文化財の県指定等について
【文化財課】・・・ 10ページ
- 7 青谷上寺地遺跡の整備状況と「青谷弥生人」を活用した情報発信について
【とっとり弥生の王国推進課】・・・ 16ページ
- 8 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【とっとり弥生の王国推進課】・・・ 18ページ

地域づくり推進部

令和3年度とっとり若者広聴レンジャー事業の実施結果について

令和4年2月24日
県民参画協働課

多様化する県民の意見を県政に反映させるため、「とっとり若者広聴レンジャー」に任命した若者グループ（4名×2グループ）が県民から様々な意見を聴き取ってとりまとめた地域の課題解決策の提案を受けましたので、その概要を報告します。

1 事業概要

(1) 若者広聴レンジャー及び取組テーマの概要

グループ名	メンバー	取組テーマ・主な広聴活動実績
DION (ディオン)	鳥取東高等学校 (生徒4名)	鳥取県にUターンする人を増やすには ・公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構へのヒアリング（I・J・Uターンをした職員に鳥取県の魅力を聞き取り） ・県ふるさと人口政策課へのヒアリング（移住定住政策、県外進学した学生等に鳥取の旬な話題や就活情報等を配信する県公式アプリ「とりふる」の活用状況） ・地域おこし協力隊へのヒアリング（移住者から見た鳥取県の魅力と課題） ・鳥取大学、県内高校の生徒にアンケート実施（県内就職希望等の意識調査）
チームしろにゃん	鳥取大学 (学生4名)	地域における情報格差をなくすために若者ができること ・携帯電話会社へのヒアリング（高齢者向けスマホ教室の実施状況等） ・「高齢者のためのスマートフォン教室」視察、参加者へのヒアリング ・（社福）鳥取市社会福祉協議会「趣味の教室」参加者へのスマホ利用アンケート実施 ・東京都渋谷区役所への電話ヒアリング（スマホ貸出事業実施状況）

(2) 活動の経過

- 6月25日 応募のあったグループの中から2グループを若者広聴レンジャーに決定
- 8月～1月 広聴活動、提案の検討
- 10月15日 第1回広聴レンジャー会議（関係課との意見交換等）
- 12月15日 第2回広聴レンジャー会議（同上）
- 1月26日 提案報告会（オンラインにより地域づくり推進部長への報告を行った。）



<第2回広聴レンジャー会議>

2 提案の概要

グループ名	提案の概要
DION	「鳥取県にUターンする人を増やすには」 ・高校生が鳥取の魅力を思考・広聴・体験して、自分で好きと思える鳥取県のリアルな情報をSNSで主体的に発信する仮称「鳥っ子部」（部活）を高校に新設し、鳥取県への関心を高めて将来的なUターンを促進する。 ・鳥っ子部を新設した県内の高校で1つの鳥っ子新聞を作成し、県内外に配布して多くの人に鳥取県への関心を高めてもらう。また県の公式アプリ「とりふる」と連携し、鳥取県民に「とりふる」と「鳥っ子新聞」をPRして双方の認知度アップにつなげる。 ・DIONは、鳥っ子部の新設に向けて鳥取東高校でまずは愛好会を立ち上げ、試行的に活動を始めたい。
チームしろにゃん	「地域における情報格差をなくすために若者ができること」 ・コロナ禍でICT（情報通信技術）の重要性が増す中で、スマホを活用したいと思っているものの使用に不安を抱えている高齢者が多く、高齢者に寄り添った継続的な支援により、高齢者がICTを活用しやすい機会の提供が重要である。 ・このため、スマホに興味や利用希望のある高齢者にスマホを貸し出したり、孫世代にあたる学生と行政がタッグを組み、スマホに関する不安や困りごとに対応する高齢者向けの相談会や活用講座を定期的開催する。

3 今後の予定

いただいた提案は、事業実施の参考にするほか、今後の予算要求等への反映を検討していく。

地域づくり活動の活性化に向けた各種イベントの開催結果について

令和4年2月24日

県民参画協働課

「令和新時代創造県民運動」に取り組んでいる団体の皆様の活動を県民に広く伝え、鳥取県×日本財団共同プロジェクトの取組発信や地域づくり活動の裾野を広げることなどを目的に、「令和新時代とっとり元気フェス」、「とっとり研志塾」、「とっとりSDGs アワード」を同時開催しましたので、その概要を報告します。

1 開催概要

- (1) 日 時 令和4年1月30日(日) 午前11時～午後4時
 (2) 開催方法 一般観客を入場不可とし、オンライン方式で開催。会場の様子をユーチューブで配信

2 令和新時代とっとり元気フェス もっと広がる地域の縁づくり～人と出会い、一緒に学び、楽しもう～

(1) 「とっとりの魅力発信PR動画コンテスト」表彰式

とっとりの魅力を県内外に伝える動画を募集し発信することで地域づくりにつなげるため、「とっとり★エール」をテーマに、鳥取県の魅力を伝える動画作品を募集し、その中から優秀作品を表彰した。

<受賞者> 応募数：応募数：30件(うち県外4件)

作者名(居住地)	作品名
○知事表彰(最優秀賞)1件	
エフジエー F J (鳥取市)	彩りあふれるまち 鳥取県
○知事表彰(優秀賞)3件	
くまぼら そら 桑原 宙 (鳥根県)	ただいま、鳥取砂丘
カコモ CACOMO (倉吉市)	鳥取キャンプ旅 大山編
鳥取砂丘アクティビティ協会・鳥取大砂丘観光協会 (鳥取市)	鳥取砂丘でお待ちしています。



(2) 「令和新時代創造県民運動活動表彰」表彰式

令和新時代創造県民運動に取り組む方々の意欲の醸成と認知度向上を図るため、令和3年中に地域づくり活動に取り組まれた団体を募集し、その中から優秀団体を表彰した。

<受賞団体> 応募数：32件(一般部門19件、若者活動部門8件、企業SDGs部門5件)

団体名・代表者名	活動名(主な活動地域)
○知事表彰(最優秀賞)1団体	
エヌケーシー N. K. C ナーシングコアコーポレーション合同会社 代表社員 神戸 貴子	ヤングケアラー夜間休日LINE相談(米子市)
○協賛企業賞(あいおいニッセイ同和損保賞)1団体	
社会福祉法人鳥取福祉会 うぶみ苑多機能型事業所 所長 谷口 伸一	ウブミ ベース UBUMI BASE (鳥取市)
○協賛企業賞(大塚製薬賞)1団体	
ニコクラフト 代表 森田 笑・森田 将悟	海を笑顔に!～海からプラスチックゴミをゼロにする親子の挑戦(鳥取市)
○知事表彰(一般部門優秀賞)4団体	
こども食堂とみんなの居場所 ほっとここ 代表 田中 昭子	みんなの居場所づくり(倉吉市)
おがもカーシェアリング倶楽部 会長 河野 和人	小鴨地区コミュニティー共助交通(倉吉市)
浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会 委員長 飼牛 明	地域全体の活性化と教育活動を主体とした年間通じての各種活動(鳥取市)
りょうさいかい 良菜会 代表 綾木 貞子	コロナに負けるな!食を通じて推進!暮らしパワーアップ!!(智頭町)
○知事表彰(若者活動部門優秀賞)2団体	
鳥取県立智頭農林高等学校 森のしずくクラブ クラブ長 木村 梓馬	緑をとりもどせ!-生物多様性の保全と崩壊地の緑化を目指して-(智頭町)
チームしろにゃん(鳥取大学) リーダー 井手 綾花	ねこのてオンライン掲示板づくりプロジェクト(鳥取市)
○知事表彰(企業SDGs部門優秀賞)1団体	
エヌケーシー N. K. C ナーシングコアコーポレーション合同会社	ヤングケアラー夜間休日LINE相談(米子市) ※知事表彰(最優秀賞)と重複受賞

3 とっとり研志塾

(1) 「とっとり研志塾」(鳥取県×日本財団共同プロジェクトフォーラム)

日本財団との共同プロジェクトに取り組んだ活動者や高校生など約30名が参加し、取組の更なる発展について参加者同士が対話型で意見交換するワークショップ「とっとり研志塾」をオンライン開催した。(県政顧問の(株)不二家代表取締役会長 山田 憲典 氏が塾長として冒頭挨拶をオンラインにて実施)

<主な議論>

- ・今までのつながりは、同じ属性の人が集まったものであることが多かったのでは無いか、日本財団が関わることで、異業種の方が入ってきているように感じる。
- ・地域に入って活動すると、鳥取ではオンリーワンの人として、活動が注目されやすいと感じる。
- ・自分が良く知らない初めての地域の中でつながりを創るためには、意識を共有できる「〇〇〇をやろう」でつながりを創ることが効果的と思う。
- ・鳥取でつながりを創ろうとするとき、まずは相手の正体がわかっていないと近づかない県民性があるのではないかと。都市部に比較して人の多様性に対するハードルが高いと感じる。
- ・小さいがゆえにつながりやすい鳥取の特徴である「知縁コミュニティ」を活かしつつ、一緒に目的意識を有する多様性を持った「同志型コミュニティ」を創っていくことが活動の輪を広げるためには必要ではないか。



<参加者>

齋藤 浩文氏 (まるとにわ代表理事)、大堀 貴士氏 (NPO 法人ハーモニカレッジ代表)、貝本 正紀氏 (アマゾンラテルナ鳥取大山オフィス代表)、長谷川 大介氏 (日野高校魅力向上コーディネーター)、井手野 貴将氏 (青翔開智高校教諭)、木田 悟史氏 (日本財団鳥取事務所長) ほか

(2) 「学校自慢！スクールソングお嬢」(日本海テレビ番組「オンガクお嬢 Remix」とのタイアップ事業)

愛校心を育むことを通じて地域への愛着・関心を高めることを目的に、予選を勝ち抜いた県内の幼稚園児、小中高生・大学生ら9チームが校歌をアレンジしたパフォーマンスを行うイベントを開催した。(公開収録した番組は2月にテレビ放映予定)

<参加団体>

鳥取大学、鳥取敬愛高校、桜ヶ丘中学校、久松小学校、遷喬小学校、浜坂小学校、若葉台小学校、賀露小学校、鳥取第二幼稚園



4 「とっとり SDGs アワード」表彰式

若者等の地域愛の醸成や地域づくり活動への参加意欲向上を目的に、鳥取銀行など様々な団体と連携して、今年度「とっとり SDGs アワード」を創設し、県内の小・中学生、若者から募集した地域づくりアイデア・プランを表彰した。

受賞されたアイデア・プランのプレゼンテーションを行い、その実現に向け、関係機関と連携して支援を行う。



<受賞者・受賞グループ> 応募数：123件(ファーストステップ96件、セカンドステップ27件)

ファーストステップ (小中学生対象)	
受賞者・受賞グループ名 (学校名、学年)	提案名
○グランプリ 1名	
もりた にこ 森田 笑 (稲葉山小学校6年)	海のプラスチックゴミを使ったアクセサリー作り
○準グランプリ 1名	
おか みづき 岡 美月 (福米中学校3年)	心をつなぐリユースの輪
○入賞 3名	
おがわ れん 小川 怜 (住吉小学校5年)	プラプラ歩いてプラゴミ回収サンダル
とみもり せな 富盛 世菜 (成徳小学校6年)	家の物でできるエコ植物～とてもかんたん～
まつだ さちほ 松田 祥歩 (青翔開智中学校2年)	捨てられてしまう食べ物目線の絵本「あおぼのじんせい」

セカンドステップ (若者対象)	
受賞者・受賞グループ名 (学校名)	提案名
○グランプリ 1グループ	
フロンティア スクール Frontier School (鳥取大学生・岡山大学生等によるグループ)	閉校舎に秘密基地を創ろう！～若者が理想とする魅力的な 学び舎を考えよう～
○準グランプリ 1グループ	
つながるころプロジェクト (青翔開智高校生グループ)	つながるころ
○入賞 3グループ	
チーム倉西 (倉吉西高校生グループ)	倉吉グリーンカーテンプロジェクト！
地元愛好家 (日野高校生グループ)	安心する町づくり
アオハル aoharu (倉吉東高校生グループ)	わくわく 梓湧

5 開催結果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン方式での開催となったが、ユーチューブの再生回数が3,879回(2月8日時点)と、多くの方に視聴いただき、地域づくり活動への興味・関心の醸成につながった。

(参考)「2 令和新時代とっとり元気フェス」及び「3 とっとり研志塾」の開催内容は、とっとり動画チャンネルにより、以下のアドレスでご覧いただけます。

<ユーチューブアドレス> ※2月9日にアドレスを変更

<https://youtu.be/Y6NRnCkzHYo>

「第2期関西観光・文化振興計画」の最終案について

令和4年2月24日
観光戦略課・文化政策課

関西広域連合では、「関西観光・文化振興計画」（平成24年3月策定）について、令和4年3月をもって計画期間（10箇年）が満了するため、有識者等で構成する策定委員を設置し、新たな計画の策定に取り組んでいるところですが、このたび、最終案が取りまとめられたので報告します。

なお、この計画では、関西圏の国際観光振興（地方空港の国際便、クルーズ船、サイクリングなどのスポーツツーリズムなど）及び文化振興（世界・日本遺産、ジオパークなど）の戦略を示すものとして策定するものであり、各参加府県市の個別戦略は掲載されていません。個別具体的な事業については、今後、この計画をもとに参加府県市で検討していくこととなります。

本県が推進するサイクルツーリズム、国際便及びクルーズ船との連携、日本遺産及びジオパークを活用した誘客などが本計画に盛り込まれていることから、関西ブランドの強みを活かしつつ、本県への誘客に繋げることが期待できる計画案となっています。

1. 中間案からの主な変更点

(1) 中間案報告以降の情勢の変化による変更

「大阪・関西万博」における関西広域連合パビリオンの出展や、「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」の再延期を踏まえ「戦略6「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進」を追加。

(2) 策定委員会及びパブリックコメントでの意見等による変更

- ・モーターサイクルツーリング（バイクでの旅行）による周遊観光促進の取組の追加
- ・国立公園や国定公園を活用した周遊観光促進の取組の追加

(3) 計画の名称案の決定

「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」から「第2期関西観光・文化振興計画」へ名称の変更。

2. 最終案について

(1) 計画策定の趣旨・計画期間

関西の観光・文化は、令和4（2022）年度の文化庁の関西移転、令和7（2025）年の「大阪・関西万博」の開催等を新たなステージに向けた成長への好機と捉え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響、持続可能な開発目標（SDGs）、DXなどの時代の変化に対応する必要がある。関西広域連合では、観光、文化が互いをさらに高め合い、関西が一丸となって取り組む国際観光振興及び文化振興の戦略を示すものとして策定する。

計画期間は、令和4（2022）年4月から令和9（2027）年3月までの5年間とするが、新型コロナウイルス感染症の影響及びインバウンドの回復の状況により戦略を見直す必要や社会・経済情勢の変化による新たな課題等が生じた場合は、計画の見直しを行う。

(2) 観光・文化を通じた関西の将来像と実現のための戦略

<将来像>新時代の文化・観光首都の創造

関西は、文化庁の関西移転、大阪・関西万博の開催などに象徴される新時代を迎えようとしている。

新型コロナウイルス感染症の拡大により世界中が難局にある中、「文化や観光は、人の精神を支える基本的、普遍的な価値を有し、SDGsが目指す未来を切り拓くもの」と捉え、世界の人々があこがれる、新しい時代の「文化・観光首都」である関西を創造していく。

<戦略>※各戦略の詳細は添付の「第2期関西広域連合観光・文化振興計画」最終案をご覧ください。

『新時代の文化・観光首都の創造』の実現をめざし、関西広域連合によるこれまでの取組や観光・文化を取り巻く現状、課題を踏まえ、以下の戦略に取り組む。

また、インバウンド観光が復活するまでの当面の間は、国内観光の需要喚起に向けて取り組むとともに、受入環境の整備、情報発信などを中心とした取組を進める。

●**戦略1：文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進**（最終案 14 頁掲載）

観光客の分散化や一部観光地の過度な混雑の解消、観光資源・文化資源の保全により、観光客、地域住民、観光事業者「三方よし」の質の高い観光の実現と、「山陰海岸ジオパーク」、「サイクリング」をはじめ関西の観光資源を活かした旅行商品造成、地方空港の国際便、関西に寄港するクルーズ船と連携し、関西広域への来訪者の周遊を促す。

また、感染症対策等を踏まえた安心・安全な「新しい旅のエチケット」の普及を図るなど、安心・安全な旅行環境の整備を推進する。

●**戦略2：関西の観光・文化分野におけるDXの促進**（最終案 16 頁掲載）

構成府県市等が有する観光・文化に関わる各種データの共有・活用を検討するとともに、マーケティングや情報発信におけるDXを促進する。

また、AR、VR等の技術を活用し、観光・文化資源のコンテンツ化や交通利便性の向上を促進・支援する。

●**戦略3：多様な観光客への対応**（最終案 17 頁掲載）

誰もが安心して関西の観光を楽しむことができるよう、食や宗教、生活習慣などに対応できる環境の整備を図るとともに、多様なニーズや旅行スタイルに応じたコンテンツの創出に取り組む。

また、社会潮流の変化に伴って新たに生まれる観光ニーズへの適切な対応にも努める。

●**戦略4：関西文化に親しむ機会の創出**（最終案 17 頁掲載）

関西にゆかりのある文化人の記念となる周年などの機会を活かした取組や、まちづくりに文化を積極的に活用する取組を支援することで関西文化に親しむ機会を創出する。

また、地域の相互交流等による関西の文化力の向上を図る。

●**戦略5：関西文化の次世代への保存・継承と発展**（最終案 18 頁掲載）

子どもに文化体験の機会を提供し、文化を支える活動への啓発と次代の文化を担う人材育成を図る。

また、アーティストへの効果的な支援情報の提供や他分野連携により、文化活動支援・発展を図る。

●**戦略6：「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進**（最終案 19 頁掲載）

関西広域連合のパビリオンを観光・文化のゲートウェイとし、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を通じて万博と関西各地が結ばれるよう、各地域の魅力を紹介し、関西広域の周遊を促進する。

また、万博後も有形・無形のレガシーを活用した持続性の高い観光の推進に努める。

●**戦略7：推進体制の確立・強化**（最終案 20 頁掲載）

関係団体がそれぞれの強みを発揮し、役割分担しながら取組を進める。観光分野では関西広域連合と関西観光本部が協働し、関係団体とともに、大阪・関西万博の開催を見据えた国際観光を推進することとし、文化分野では文化庁と連携した総合的・戦略的な文化振興策を推進する。

3. 「第2期関西観光・文化振興計画」策定に向けた今後のスケジュール（予定）

令和4年3月5日 広域連合議会3月定例会への最終案上程

鳥取県スポーツ顕彰の授与について

令和4年2月24日
ス ポ ー ツ 課

1月21日（金）に鳥取県スポーツ顕彰授与式を開催し、世界大会等で目覚ましい活躍をした本県ゆかりの選手に「スポーツ顕彰」を、日本代表として顕著な成績を収めた監督、コーチへ「スポーツ功労章」を授与しましたので、報告します。

1 日時 令和4年1月21日（金）午後1時から1時20分まで

2 場所 鳥取県庁特別会議室

3 受章者

【スポーツ顕彰】

選手氏名	競技名	成績
とみた ちあき 富田 千愛	ボート	2019年世界ボート選手権大会 女子軽量級シングルスカル準優勝
さいごう ともひろ 西郷 智博	相撲	第23回世界相撲選手権大会 団体準優勝
まつもと なぎさ 松本 渚	相撲	第14回世界女子相撲選手権大会 中量級第3位
つばや りょうた 坪谷 亮太	ビーチサッカー	FIFA ビーチサッカーワールドカップロシア2021 準優勝
やすの ゆうへい 安野 祐平	パラ陸上	東京2020パラリンピック競技大会 100m (T33クラス) 第5位

【スポーツ功労章】

氏名	競技名	成績
おおべ ゆみ 大部 由美 [監督]	サッカー	東京2020オリンピック競技大会 女子サッカー 第8位 (準々決勝進出)
うさみ りか 宇佐美 里香 [チームリーダー]	空手	東京2020オリンピック競技大会 メダル獲得 (金1、銀1)
やました しのぶ 山下 忍 [コーチ]	陸上 (車いす)	東京2020パラリンピック競技大会 メダル獲得 (金2、銀1、銅3)、外入賞5

※坪谷選手はオンライン出席。富田選手は代理出席。松本選手は所用により欠席。



写真：前列左より安野選手、平井知事、西郷選手、富田千愛選手のお父様
後列左より林会長、大部コーチ、宇佐美リーダー、山下コーチ、後藤会長

第77回国民体育大会冬季大会（スケート競技、スキー競技）における 鳥取県選手団の結果について

令和4年2月24日
スポーツ課

第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会（フィギュア）（栃木県日光市）及びスキー競技（秋田県鹿角市）の本県選手団の結果について報告します。

1 スケート競技（フィギュア）

- (1) 会 期 令和4年1月24日（月）から27日（木）まで（4日間）
 (2) 会 場 栃木県立日光霧降アイスアリーナ（栃木県日光市）
 (3) 派遣者数 7名（本部役員3名、監督1名、トレーナー1名、選手2名）
 国体本戦へは、昨シーズンの少年女子チームに続き2年連続、成年女子チームとしては平成28年1月の第71回岩手大会以来6年ぶりの出場となった。
 (4) 結 果 9位（昨年12位）

種別	氏名 (所属)	出場者 数	競技成績			
			SP	FS	個人総合成績	都道府県別順位
成年 女子	永見 千代乃 (ノートルダム清心女子大)	16県	15位 (45.15点)	12位 (92.26点)	13位 (137.41点)	9位
	三村 優希 (鳥取県スケート連盟)	32名	21位 (39.14点)	24位 (55.29点)	24位 (94.43点)	

- ・SP：ショートプログラム、FS：フリースケーティング
- ・SPの上位12チーム（都道府県）が翌日のFSに出場する方式
- ・都道府県別順位は、出場者2名の総合成績合計による。



永見選手（左）と三村選手

2 スキー競技

- (1) 会 期 令和4年2月17日（木）から20日（日）まで（4日間）
 (2) 会 場 花輪スキー場（秋田県鹿角市）
 (3) 派遣者数 32名（本部役員6名、監督3名、トレーナー2名、選手21名）

	ジャイアントスラローム	クロスカンントリー
成年男子A	2名	3名
成年男子B	1名	—
成年男子C	2名	2名
成年女子A	—	—
成年女子B	—	—
少年男子	6名	3名
少年女子	2名	—
計	13名	8名



7位入賞 成年男子C 三好孝文選手

- (4) 結 果
 入 賞 三好 孝文選手（陸上自衛隊米子駐屯地）…クロスカンントリー成年男子C 第7位

- ・スキー競技全体の入賞は、令和2年第75回富山スキー国体成年女子Bの堤 晴彩（4位）以来の入賞。
 ※令和3年の秋田スキー国体は中止
- ・クロスカンントリー種目としては平成24年第67回岐阜スキー国体成年男子Cの宮脇 宏和（8位）以来10年ぶりの入賞。

3 総合成績 () 内数字は昨年の成績 ※スキーは第76回大会が中止のため第75回大会の成績

競 技	男女総合成績				女子総合成績			
	得 点			順 位	得 点			順 位
	参加 得点	競技 得点	合計 得点		参加 得点	競技 得点	合計 得点	
スケート	10(10)	0(0)	10(10)	30位(27位)	10(10)	0(0)	10(10)	26位(25位)
アイス ホッケー	10(10)	0(0)	10(10)	11位(12位)				
スキー	10(10)	2(5)	12(15)	25位(18位)				

※スキー競技終了時点での総合順位はまだ公表されていません。

文化財の県指定等について

令和4年2月24日
文化財課

令和4年2月9日(水)、鳥取県文化財保護審議会(会長:長谷川博史 島根大学教育学部教授)は、下記の文化財を鳥取県保護文化財、鳥取県名勝に指定、鳥取県無形文化財に指定及び保持者認定するよう知事に答申しました。

記

文化財の名称	曾我物語図屏風 (そがものがたりずびょうぶ)
文化財の分野	保護文化財 (絵画)
所在地	鳥取市
員数	六曲一双
答申の概要	一対の屏風の右面には富士山麓での狩猟、左面には曾我兄弟の仇討ちのストーリーが巧みな画面構成で表現される。上質な絵具による繊細で細密な描写に優れた出来栄を示し、作者は様式的に土佐光吉 (1539～1613) と推定される。桃山時代の画壇の中核にあった光吉による大画面の物語絵としてきわめて貴重であり、現存する最古の曾我物語図としても大変意義深い。

文化財の名称	陶芸 保持者 河本賢治 (かわもとけんじ)
文化財の分野	無形文化財 (工芸技術)
所在地	倉吉市
答申の概要	民藝陶器に表象されてきた師匠・生田和孝氏の作風を深く体得しており、これが河本氏の、蹴轆轤や面取といった成形や日用器の形態、加飾の技法、質朴な釉調によく表れている。一方、自己表現としての陶芸制作をめざして国展等の公募展で発表してきた陶器作品には、生田の作風とは異なる独自の造形性が看取され、同時代的感覚による洗練された民藝的美感が表現されている。

文化財の名称	門脇氏庭園 (かどわきしていえん)
文化財の分野	名勝
所在地	大山町
答申の概要	所子集落の中に位置し、「前庭」、「茶庭(小露地)」、「奥庭」の3つから成る。嘉永3年の家相図から、幕末頃の配置が現在まで継承されており、とりわけ「奥庭」の池の形状・意匠が良好に遺存している。また、主屋、茶室、湯殿・雪隠をはじめとする庭園に面した建物も良好に保存されており、空間の一体性も高く評価でき、鳥取県西部屈指の豪農・大庄屋の近世庭園の一つとして重要である。

また、「特別天然記念物オオサンショウウオ保存活用指針」について策定することも答申しました。

特別天然記念物オオサンショウウオ保存活用指針（概要）

本県におけるオオサンショウウオを取り巻く現状と課題について整理し、対応方針と保護計画を示す。

①スムーズな開発との調整のための情報整理

個体の動向把握のためマイクロチップを導入し、情報整理・共有のためデータベース作成などを実施。また河川ごとに有効な保護対策を示すため、生息環境調査（令和3年度から6年度まで4年間を予定）を実施する。

②生息域である河川内のみならず、河川周辺も含めた開発が生息に影響を及ぼす可能性が考えられるため、開発行為の際は適用する範囲を定めて、適切な工法や施工時期などを工事前に関係者が協議する。

③活用に関する取り組みの必要性と推進

地域住民がオオサンショウウオを通して地域の自然の豊かさを知り、地域に対する誇りや地域振興に繋げることが重要。

保護のためには活用に関する取り組みを、保存と両立して行っていく必要がある。

【文化財の詳細】

名称	所在地	員数	指定基準
曾我物語図屏風 <small>そがものがたりずびょうぶ</small>	鳥取市	六曲一双	保護文化財 絵画・彫刻の部 1 各時代の遺品のうち製作優秀で我が県の文化史上貴重なもの 2 我が県の絵画・彫刻史上特に意義のある資料となるもの 4 特殊な作者、流派又は地方様式等を代表する顕著なもの

< 指定理由 >

曾我物語図は、曾我十郎・五郎の兄弟による仇討の悲話を絵画化したものである。

渡辺美術館所蔵作では、右隻に源頼朝が行った《富士の巻狩》にて兄弟が父の仇の工藤祐経を狙うが失敗する様を、画面全体を一場面として表す。左隻には、同日の晩に兄弟が祐経を討つ準備を進め、ついに仇討を果たし絶命するまでの《夜討》の顛末を展開する。

人物は右隻に 84 名、左隻に 157 名のあわせて 241 名を数え、加えて動物は、武士が伴う馬や犬をはじめ、鹿、猪、兎等が多く描かれる。描写は総じて丁寧、繊細である。人物像の描き分けや建築モチーフの巧みな配置、動植物や器物まで実に多彩な衣服の文様なども大変魅力的である。また、富士山を麓しか描かないことや、頼朝を右隻の中心に配置する点、残酷な描写を控える点などは他の曾我物語図と比較して特徴的である。

本作は画家の署名および印章は備えないが、様式的に土佐光吉（1539～1613）の中期から後期の作品に類する特徴を示す。土佐派は 14 世紀に始まる大和絵の画家集団であり、公武の御用を引き受け隆盛した。光吉は、師の土佐光茂（1496?～?）から粉本および知行地等を譲られて土佐派を率い、以後光吉の血統が近世土佐派を主導した。現在、光吉の作品は、「絹本著色足利義輝像」（国立歴史民俗博物館）他四件が国の重要文化財に指定されている。

渡辺美術館所蔵「曾我物語図屏風」は、桃山時代末期の土佐派主要画家で当時の画壇の中樞にあった光吉による大画面の物語絵画として、きわめて貴重な作品であり、良質の絵の具



(右隻)



(左隻)

を使用した優れた出来映え、他例のない曾我物語を扱う点でも意義深い。現在 40 点ほどが知られる曾我物語図屏風のうち、現存最古の作例としても重要である。

研究者により 2006 年に見出されて以来、本作は複数回展覧会に出品され、研究論文も相次いで刊行されおり、今後ますますの評価が期待される。

以上、本作は鳥取県のみならず、日本の美術史上、歴史上きわめて重要な作品である。

名称	所在地	指定基準
陶芸 <small>かわもとけんじ</small> 河本賢治	倉吉市	(1) 無形文化財（工芸技術関係） 陶芸、染織、漆芸、金工その他の工芸技術のうち次の各号の一に該当するもの ③ 芸術上価値が高く、又は工芸史上重要な地位を占め、かつ、地方的特色が顕著なもの (2) 無形文化財の保持者（工芸技術関係） ① 無形文化財に指定される工芸技術を高度に体得している者

< 指定理由 >

陶芸とは、陶磁工芸・陶磁芸術の略語で、陶磁器を作る工芸技術である。すなわち、素地土（はいど 坏土、たいど 胎土）を成形して乾燥させた後に焼成することで形象を完結させるという、土を素材とする工程に則った造形活動のすべてをいう。また、一般に「焼物」と呼ばれる工芸的造形物に対して芸術的評価を加える際の総称である。

河本賢治氏は、蹴轆轤や面取といった成形や加飾の技法はもとより、素地土や釉薬の組成をはじめとする土味や釉調といった質感と色調の表現方法についても、民藝陶器に表象されてきた生田和孝の作風を深く体得しており、これが同氏の日用器の形態や、もみがらばい 粃殻灰を加えたぬかゆう 糠釉（糠白）、あじゆう 飴釉、くろゆう 黒釉などの質朴な釉調によく表れている。一方、自己表現としての陶芸制作をめざして国展等の公募展で発表してきた陶器作品には、生田の作風とは異なる独自の造形性が看取され、同時代的感覚による洗練された民藝的美感が表現されている。

同氏は早くから表現としての陶芸制作への意思を明確にし、昭和3年（1928）に改称した国画会こくがかいの公募展である「国展」を主たる作品発表の場としてきた。昭和51年（1976）の「国展」初入選以来、毎年出品して入選や受賞を重ねた制作実績や業績などが評価され、平成29年（2017）に国画会新会員に推挙された（令和2年〈2020〉に国画会を退会）。

また、独立自営の作陶生活に入る前から個展やグループ展などで積極的な作品発表を継続し、令和3年（2021）10月には「作陶40年の時季 福光焼 河本賢治 40周年記念展」を鳥取大丸美術画廊で開催した。

このような旺盛な作陶活動の履歴とともに発表されてきた数多くの作品の工芸的表現性を振り返るとき、同氏の制作態度には高い芸術性をも見出し得る。

さらに、同氏は自身が卒業した小中学校にて毎年陶芸教室を開くなど、地域における陶芸文化の普及や後進の育成にも長年にわたって尽力してきた。

以上のことから、本県指定の無形文化財「陶芸」の保持者と認めるに相応しいと判断する。



第27回鳥取県美術展覧会県展賞



第61回国展前田賞

名称	所在地	指定基準
かどわきし ていえん 門脇氏庭園	大山町	(5) 史跡名勝天然記念物 (名 勝) 次に掲げるもののうち我が県の優れた国土美として欠くことができないものであって、その自然的なものにおいては、風致景観の優雅なもの、名所的あるいは学術的価値の高いもの、人文的なものにおいては、芸術的あるいは学術的価値の高いもの ① 公園、庭園

<指定理由>

門脇氏庭園は、「前庭」「茶庭(小露地)」「奥庭」からなり、嘉永3年の家相図から、幕末頃の配置が現在まで継承されており、とりわけ「奥庭」の池の形状・意匠が良好に遺存している点で、鳥取県西部屈指の豪農・大庄屋の近世庭園の一つとして学術的価値が高い。さらに三列九間取りの大規模民家において、二間続きの座敷に面する庭園として、格の-high かぎの間に向けて景色が整えられていることは、書院造庭園の地方への波及を考察する上で、示唆に富むものである。

また、茶人である5代元右衛門秀安の営為が偲ばれる茶庭は、江戸時代後期の鳥取県西部における茶文化の在り様を示す点で貴重であるとともに、要素を押しえつつ情緒ある空間に仕上げられている点でも芸術的価値が高い。

加えて、本庭園は、主屋、茶室、湯殿・雪隠をはじめとする庭園に面した建物が、良好に保存されており、その空間としての一体性も高く評価でき、これまでの重要文化財(建造物)としての保護に加え、庭園についても適切な管理をおこなうことで、庭園のみならず建築としても価値が高まるものとする。



敷地全体配置図



奥庭

県 内	県指定文化財	325 (3)	国指定文化財	124
	保護文化財	167 (1)	国宝・重要文化財	57
	絵画	29 (1)	絵画	3
	古文書	20	古文書	0
	彫刻	44	彫刻	18
	工芸品	16	工芸品	5
	書跡	0	書跡	1
	考古資料	27	考古資料	12
	歴史資料	2	歴史資料	0
	建造物	24	建造物	18
	工芸・考古資料	4	工芸・考古資料	0
	彫刻・建造物	1	彫刻・建造物	0
	史跡	20	特別史跡・史跡	34
	名勝	12 (1)	名勝	4
	名勝・史跡	0	名勝・史跡	1
	名勝・天然記念物	0	名勝・天然記念物	1
	天然記念物	58	特別天然記念物・天然記念物	19
	有形民俗文化財	6	重要有形民俗文化財	1
	無形民俗文化財	45	重要無形民俗文化財	3
	無形文化財保持者・団体	13 (1)	重要無形文化財保持者・団体	1
	伝統的建造物群保存地区	1	重要伝統的建造物群保存地区	2
			重要文化的景観	1
	県選択	3	国選択	9
記録作成等の措置を講ずべき 無形の民族文化財	3	記録作成等の措置を講ずべき 無形の民族文化財	9	

・ () 内の数字は今回新規又は追加指定数です。

青谷上寺地遺跡の整備状況と「青谷弥生人」を活用した情報発信について

令和4年2月24日
とっとり弥生の王国推進課

令和3年度における青谷上寺地遺跡の整備状況と「青谷弥生人」のそっくりさんと名前の審査結果発表会等の情報発信の状況について報告します。

1 青谷上寺地遺跡の整備状況

現在、青谷上寺地遺跡では、展示ガイダンス施設の建築工事と指定地南側の整備工事を行っており、工事完了後は展示ガイダンス施設の展示制作などを経て、令和5年秋（11月頃）の公開を予定している。

(1) 展示ガイダンス施設の建築工事（写真①②）

令和3年12月からガイダンス棟（木造）と重要文化財棟（鉄筋コンクリート造）の建築工事に着手し、現在は建物の基礎を工事中である。

(2) 指定地南側の整備工事（写真③）

弥生の自然景観体感地区として、紀元2世紀頃の自然景観をもとに湿地などを再現し活用する計画で、園路の敷設と湿地を再現するための工事に着手した。



写真①展示ガイダンス施設の建築工事（南東から）



指定地南側（R5年度11月頃公開予定範囲）



写真②展示ガイダンス施設の建築基礎工事（西から）



写真③園路設置状況（整備中は工事用道路として使用）

2 「青谷弥生人」を活用した情報発信

(1) そっくりさん及び名前の審査結果発表

SNSなどで注目を集めている「青谷弥生人」のそっくりさんと名前の募集に合計841（やよい）件の応募があり、厳正な審査を経て入賞者・作品が決定した。

○ そっくりさん審査結果

応募者215名の”そっくり度”をAIアプリで数値化し、選出した候補20名を審査員が審査して、入賞者10名を決定した。また、「青谷弥生人」になりきっているなど印象的な応募者1組と3名を特別賞に選出した。

○ 名前審査結果

応募626点から最優秀賞1点と優秀賞3点を決定した。

- ・最優秀賞：「青谷 上寺朗（あおや かみじろう）」
- ・優秀賞：「上寺地 弥八（かみじち やはち）」、「ヘラケズリック・トライヤー2世」、「割斗 小顔雄（わりとこがお）」

○ 入賞者の発表会を1月31日(月)午後1時から県庁講堂で開催（YouTubeでオンライン同時配信）

入賞者のうち3名がオンラインで登場し、受賞の喜びなどコメントをいただいた。また、名前の最優秀作品の命名書を披露した（地元青谷町の書家・柴山抱海氏が揮毫）。

○ そっくりさんのパネル展を開催

「青谷弥生人」のそっくりさん写真パネルと命名書を展示

- ・県庁本庁舎2階エレベータホール 2月1日（火）～9日（水）
- ・とっとり・おかやま新橋館 2月2日（水）～6日（日）

○ その他のメディア露出

テレビ：news every、news zero、めざまし8、ひるおび!、スーパーJチャンネル等
雑誌：週刊文春（2月10日号）

(2) その他のイベント

- ・1月8日（土）に六本木ヒルズけやき坂コンプレックス屋上庭園で行われた餅つきイベントで「青谷弥生人」を展示するとともに、青谷上寺地遺跡で栽培した黒米をブレンドしたモチ米で「赤餅」をついて参加者71名に試食いただいた。
- ・2月18日（金）に名古屋市の中日文化センターで開催された弥生講座で受講者に対し、「青谷弥生人」のPRを行った。

(3) 今後の活用

5月頃 「青谷弥生人」そっくりさんグランプリの決定

その他 史跡公園のオープン1年前イベントなどで活用
キャラクター化して県の情報発信に活用



そっくりさん入賞者一同の写真パネル



青谷弥生人の名前「青谷上寺朗」披露

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【当初契約分】

【とっとり弥生の王国推進課】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
とっとり弥生の王国推進課 〔 営繕課 〕	青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設新築工事 (重要文化財棟・建築)	鳥取市青谷町	青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設新築工事(重要文化財棟・建築)大和・懸樋特定建設工事共同企業体 代表者 大和建设株式会社 取締役社長 由宇 正実	(当初契約額) 408,320,000円	令和3年10月30日 ～ 令和5年1月31日	(当初契約年月日) 令和3年10月29日	制限付 一般競争入札 (JV)
	青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設新築工事 (ガイダンス棟・建築)	鳥取市青谷町	青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設新築工事(ガイダンス棟・建築)ジューケン・原田特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社ジューケン 代表取締役 加藤 辰宏	(当初契約額) 332,750,000円	令和3年11月5日 ～ 令和5年1月31日	(当初契約年月日) 令和3年11月4日	制限付 一般競争入札 (JV)
	青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設ほか新築工事 (機械設備工事)	鳥取市青谷町	青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設ほか新築工事(機械設備工事)西日本環境・サンユー技研特定建設工事共同企業体 代表者 西日本環境設備株式会社 代表取締役 荒川 恵	(当初契約額) 241,670,000円	令和3年10月27日 ～ 令和5年3月15日	(当初契約年月日) 令和3年10月26日	制限付 一般競争入札 (JV)
	青谷かみじち史跡公園展示ガイダンス施設ほか新築工事 (電気設備工事)	鳥取市青谷町	山口電業株式会社 取締役社長 谷川 寛	(当初契約額) 130,900,000円	令和3年10月29日 ～ 令和5年3月15日	(当初契約年月日) 令和3年10月28日	制限付 一般競争入札